

主要コンテナ航路の荷動き動向（速報値※）

（公財）日本海事センター・企画研究部

（公財）日本海事センター・企画研究部は、PIERS（Port of Import/Export Reporting Service）の統計データを基に、『日本・アジア / 米国間のコンテナ貨物の荷動き動向』を毎月発表しております。それに加えて、欧州航路、日中航路、アジア域内航路の荷動き動向も発表しております。

主要航路の荷動きのポイント

北米航路 往航（2019年7月）1,640,623TEU（4.7%増）（2018年7月：1,567,316TEU）

・《中国積みは前年比2.1減、韓国、台湾、ASEAN、インド積み増加続く》

復航（2019年5月）586,853TEU（4.3%減）（2018年5月：613,462TEU）

- 北米往航（アジアから米国）は、前年比4.7%増で5か月連続のプラス。2019年7月の中国（塩田）-ニューヨーク間の運賃は前年比0.9%増の2,270ドル/TEUで14か月連続のプラス。
- 北米復航（米国からアジア）は、前年比4.3%減で、2か月振りのマイナス。2019年7月のニューヨーク-中国（塩田）間の運賃は前年比5.3%増の800ドル/TEUで13か月連続のプラス。

欧州航路 往航（2019年6月）1,445,763TEU（3.8%増）（2018年6月：1,393,096TEU）

・《6月の荷動き量は、統計開始以来6月単月としては最高》

復航（2019年6月）649,149TEU（0.3%減）（2018年6月：651,425TEU）

- 欧州往航（アジアから欧州）は前年比3.8%増で4か月連続のプラス。2019年7月の中国（塩田）-英国（フェリックストウ）間の運賃は、前年比6.7%減の1,120ドル/TEUで5か月振りのマイナス。
- 欧州復航（欧州からアジア）は前年比0.3%減で6か月振りのマイナス。2019年7月の英国（フェリックストウ）-中国（塩田）間の運賃は前年同の900ドル/TEU。

日中航路 往航（2019年6月）869,572トン（21.3%減）（2018年6月：1,104,566トン）

・《6月の荷動き量は、統計開始以来6月単月としては最低》

復航（2019年6月）1,848,895トン（1.7%増）（2018年6月：1,818,502トン）

- 日中往航（日本から中国）は、前年比21.3%減で4か月連続のマイナス。金額ベースでは前年比12.8%減の7,010億円で4か月連続のマイナス。2019年7月の横浜-上海間の運賃は前年比27.8%増の460ドル/TEUで11か月連続のプラス。
- 日中復航（中国から日本）は、前年比1.7%増で2か月振りのマイナス。金額ベースでは前年比3.8%減の1兆343億円で2か月連続のマイナス。2019年7月の上海発-横浜向の運賃は640ドル/TEUで4か月連続のプラス。

アジア域内航路（2019年6月）3,706,600TEU（1.8%増）（2018年6月：3,642,500TEU）

- CTS社による集計では、前年比1.8%増となる371万TEUで4か月連続のプラス。2019年7月のアジア域内コンテナ運賃指数（US\$/FEU）は前年比11.6%増の828ドル/FEUで7か月連続のプラス。

注1：速報値ベースでの発表のため、後に修正が加わる場合がある。

注2：日中航路荷動き量は財務省「貿易統計」をもとにした（公財）日本海事センターによるトンベースでの推計。

注3：運賃指数はDrewry, *Container Freight Rate Insight*,に基づく

図 - 1 北米航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

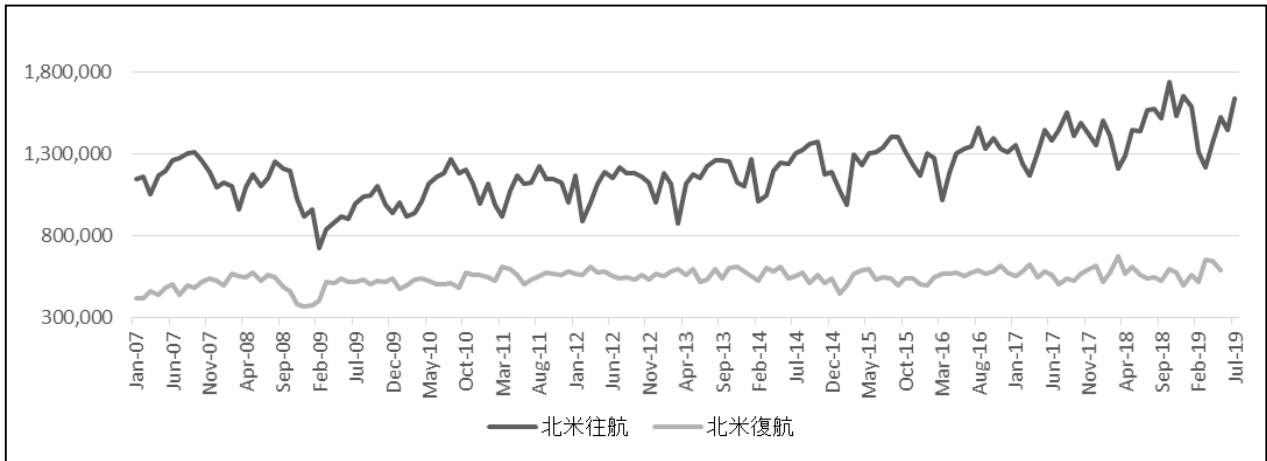


図 - 2 欧州航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: TEU)

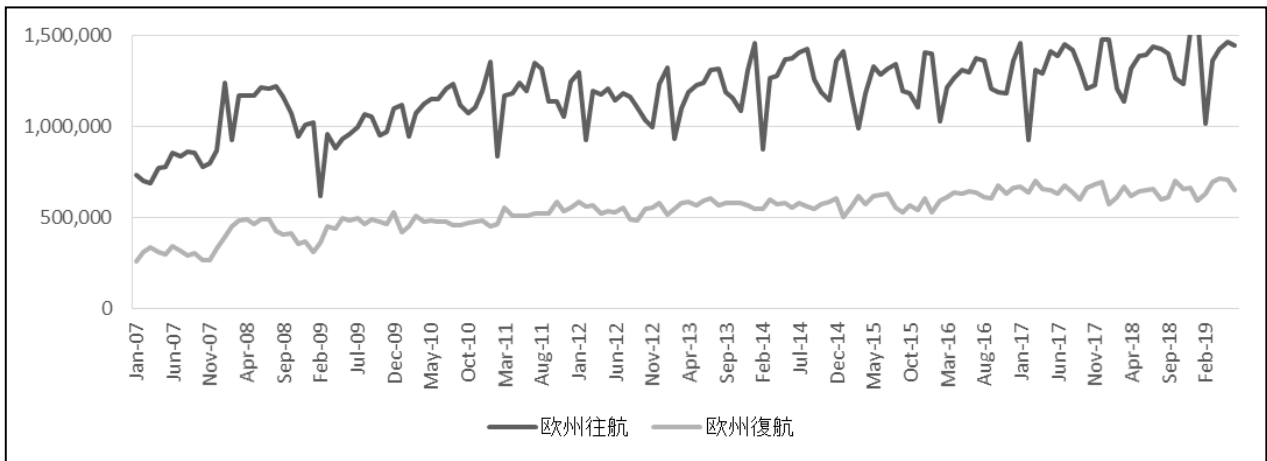


図 - 3 日中航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位: トン)

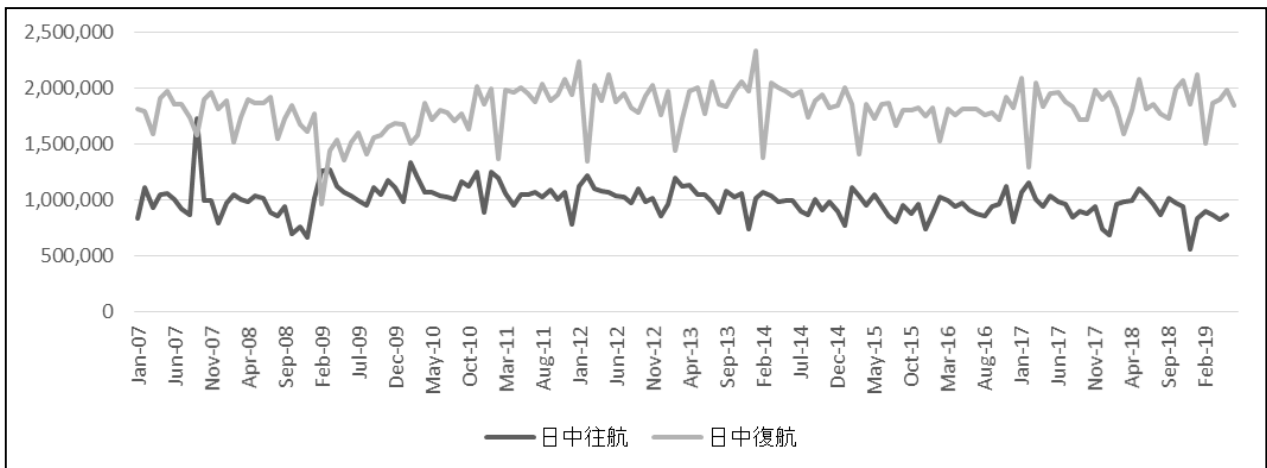


図 - 4 アジア域内航路におけるコンテナ輸送量の推移 (単位 : TEU)

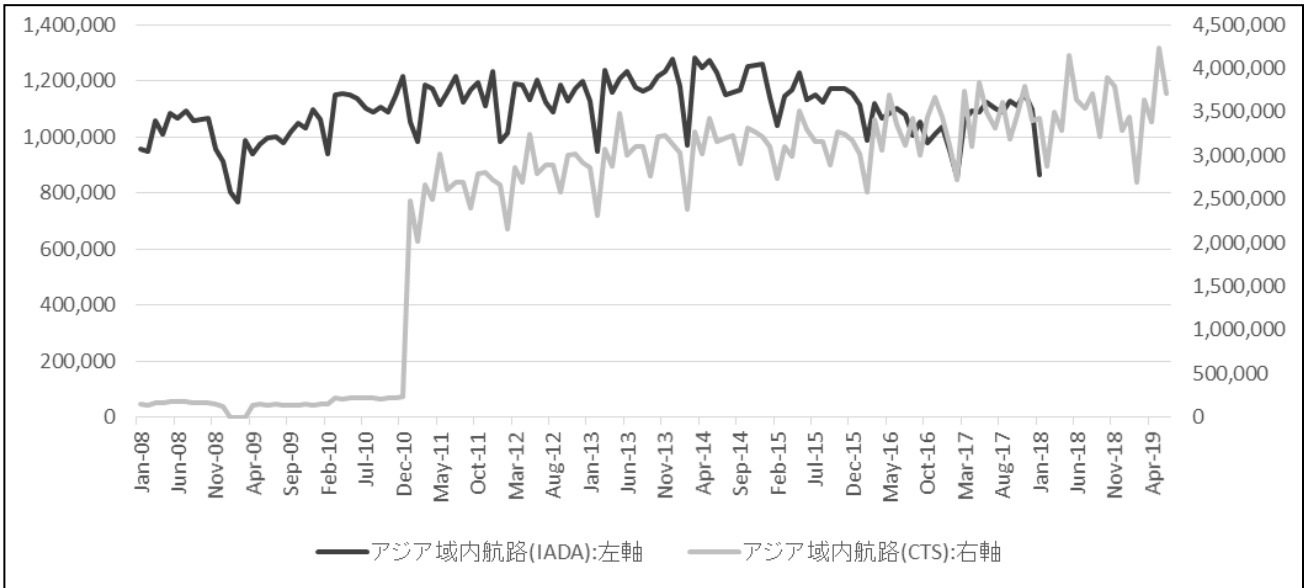


図 - 5 北米航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

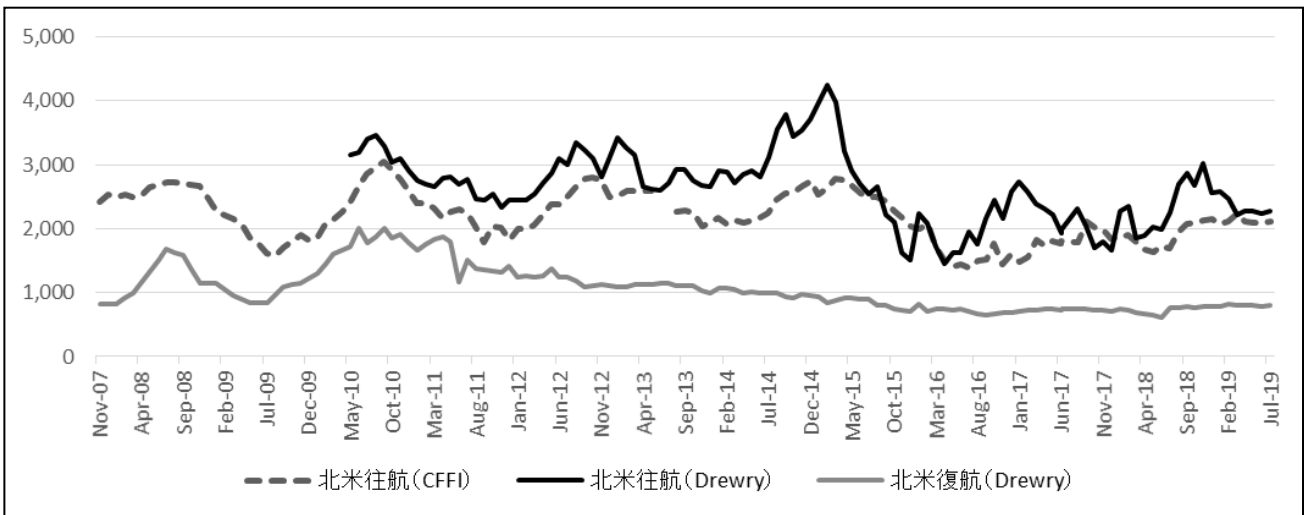


図 - 6 欧州航路における運賃指数の推移 (単位 : ドル/TEU)

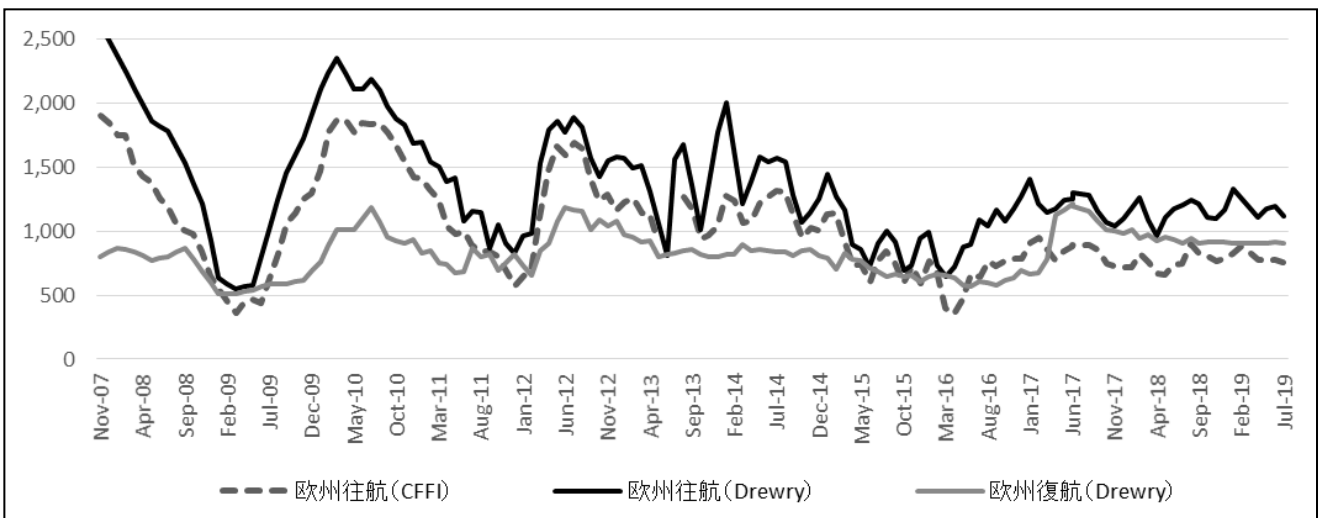
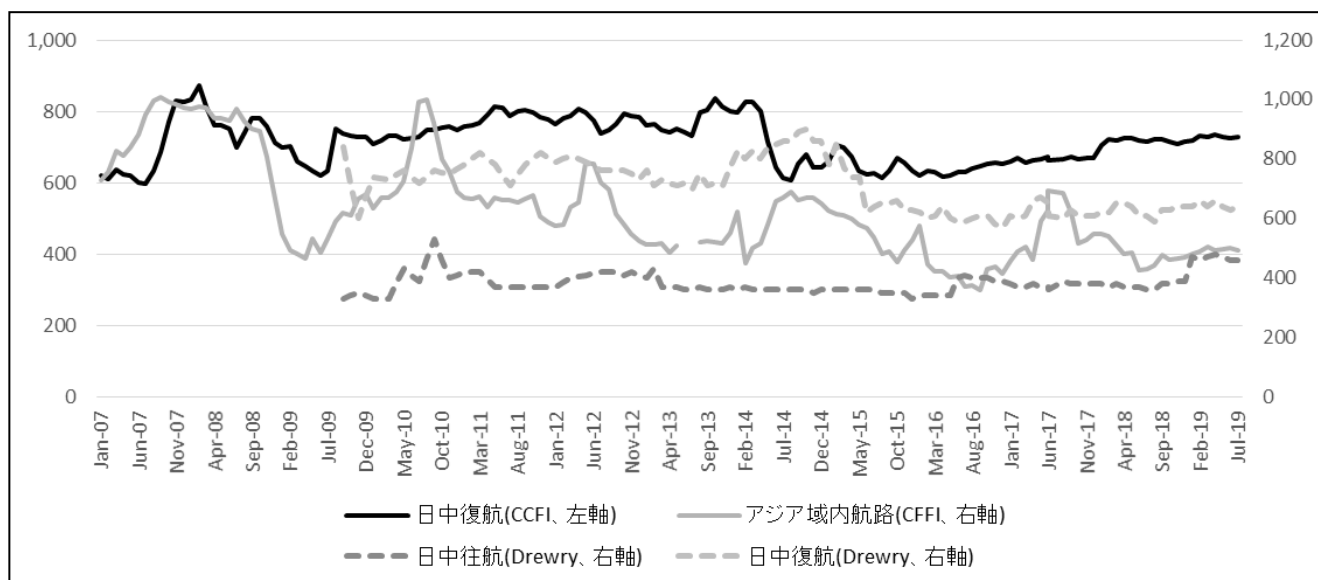


図 - 7 日中航路・アジア域内航路における運賃指数の推移 (単位 : 指数 (左軸)、ドル/TEU (右軸))



(参考) 輸送量・運賃データの出所

- 1.北米航路輸送量 : PIERS (Port Import/Export Reporting Service) データ
- 2.欧州航路輸送量 : Container Trade Statistics Ltd.
- 3.アジア域内航路輸送量 : IADA アジア域内配船主要船社取りまとめデータ、Container Trade Statistics Ltd. (CTS 社)
- 4.日中航路輸送量 (トンベース) : (公財) 日本海事センター企画研究部 (注意 : 財務省貿易統計に基づきトンベースで推計)
- 5.北米航路、欧州航路運賃指数 (往航では (CI,Drewry) と示した列、復航) : Drewry “Container Freight Rate Insight”:南中国 (塩田) と米国東岸 (ニューヨーク)、英国 (フェリックストウ) 間の運賃
- 6.北米航路、欧州航路運賃指数((CFFI) と示した列) : 中国国際海運網ウェブサイト <http://en.shippingchina.com/scfi/index/index.html>
- 7.アジア域内航路運賃指数 (毎月) : 中国国際海運網ウェブサイト (中国・東南アジア間航路の運賃指数) Drewry “Container Freight Rate Insight”:Intra-Asia Freight Rate Index(US\$/FEU)
- 8.日中航路運賃指数 :
 - ・ Clarkson Research “China Intelligence Monthly“ (上海航運交易所発表の中国輸出コンテナ運賃指数 ((CFFI) と示した列)) :
 - ・ **Drewry “Container Freight Rate Insight” (中国 (上海) と東京/横浜間の運賃) : 2014 年 4 月発表の資料より変更**
- 9.BDI (バルチック海運指数) :
 - ・ トランプデータサービス “World Maritime Analysis”
- 10.円ドルレート :
 - ・ FRB ウェブサイト <http://www.federalreserve.gov/econresdata/releases/statisticsdata.htm>